

第14編 消 防

消 防 本 部

1 消防職員・団員の定数と現員

(1) 消防職員

(令和2年4月1日現在)

区 分	消防正監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	その他の職員	計
定 数	1	5	18	40	103	81	0	77	1	326

(2) 消防団員

(令和2年4月1日現在)

区 分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
定 数	1	5	18	18	61	78	329	510
現 員	1	5	18	18	53	63	263	421

2 市勢と現有消防勢力の対比

(1) 本部・署

(各年4月1日現在)

年別	区分 職員数	消防職員1名に対する			署・支署に対する			消防車1台に対する		
		面積km ²	世 帯	人 口	面積km ²	世 帯	人 口	面積km ²	世 帯	人 口
30	321	6.65	306	557	213.60	9,832	17,890	142.40	6,555	11,926
元	320	6.68	307	552	213.60	9,818	17,655	142.40	6,545	11,770
2	326	6.55	301	531	213.64	9,801	17,319	142.43	6,534	11,546

(2) 消防団

(各年4月1日現在)

年別	区分 団員数	消防団員1名に対する			1分団に対する			消防車1台に対する		
		面積km ²	世 帯	人 口	面積km ²	世 帯	人 口	面積km ²	世 帯	人 口
30	436	3.1	216	392	75.7	5,232	9,496	47.00	3,248	5,894
元	425	3.2	221	397	75.7	5,226	9,374	47.00	3,244	5,818
2	421	3.2	223	393	75.7	5,219	9,199	47.01	3,240	5,710

(3) 消防車・救急車の出動回数について

ア 火災・警戒出動概要

令和元年中の出動状況は86件の火災が発生し延べ665台の車両、2,485名の隊員が出動し消火活動を実施、その概要は次表のとおりである。

(ア) 火災出動状況

区分	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
		火災件数	5	1	6	25	8	4	3	6	4	8	6	10
出動台数	消防署	33	9	53	165	42	28	21	43	21	34	35	70	554
	消防団	6	0	7	35	8	9	3	10	5	2	7	19	111
	計	39	9	60	200	50	37	24	53	26	36	42	89	665
出動人員	消防署	112	33	188	572	149	95	76	151	78	118	120	253	1,945
	消防団	13	0	40	130	50	32	12	62	19	0	54	128	540
	計	125	33	228	702	199	127	88	213	97	118	174	381	2,485

(イ) 警戒出動状況

出動種別	区分 件数	出動台数(台)			出動隊員数(人)		
		消防署	消防団	計	消防署	消防団	計
警報器等	73	130	5	135	516	29	545
油・ガス	106	215	0	215	824	0	824
集合煙突	4	9	0	9	30	0	30
異常燃焼	1	1	0	1	6	0	6
その他	600	1,411	12	1,423	5,136	64	5,200
計	784	1,766	17	1,783	6,512	93	6,605

(ウ) 火災・警戒出動状況の推移

区分		年次別	29	30	元
火災出動	件数(件)		65	50	86
	台数(台)		405	362	665
	人員(名)		1,809	1,538	2,485
警戒出動	件数(件)		1,123	963	784
	台数(台)		2,362	2,256	1,783
	人員(名)		9,059	8,464	6,605

イ 救助出動概要

令和元年中の救助出動は52件で、これに対し287台の車両、1,052名の隊員が出動し業務を遂行した。事故種別ごとに出動件数をみると、交通事故及び水難事故が全体の61.5%を占めている。

(ア) 前年比救助出動状況

年別比較 件数	元(A)	30(B)	比較増減	
			件数(C)	(C)/(B)
出動件数	52	49	3増	6%増

(イ) 事故種別出動状況

種別 件数等	交通事故	水難事故	機械による 事故	建物等による 事故	その他	計
出動件数(件)	20	12	2	5	13	52
出動台数(台)	119	77	11	34	46	287
出動人員(名)	422	263	40	165	162	1,052

(ウ) 署々別出動状況

方面別 件数	中央方面(うち東方面)	西方面	計
出動件数(件)	36(8)	16	52

(エ) 救助出動件数の推移

年次別 件数	29	30	元
出動件数(件)	67	49	52

ウ 救急活動概要

(7) 資格者及び救急隊の状況（令和2年4月1日現在）

- a 救急救命士 資格者 75名
- b 救急課程 資格者126名
- c 救急隊の配置状況
 - ・中央救急隊
 - ・東救急隊
 - ・愛国救急隊
 - ・西救急隊
 - ・阿寒救急隊
 - ・阿寒湖温泉救急隊
 - ・音別救急隊
 - ・白糠救急隊

計 8 隊運用（全隊高規格救急自動車導入）

(4) 年次別救急出動状況

令和元年の救急出動件数は10,322件、搬送人員9,625人で、前年に比べ出動件数においては218件増加し、搬送人員においても263人増加した。これは、住民18人に1人が救急車によって搬送されたことになる。また、1日平均28.3件出動したことになる。

年次別救急出動状況の推移

年 別	29	30	元
出動件数（件）	9,686	10,104	10,322
搬送人員（人）	8,936	9,362	9,625
1日平均出動件数（件）	26.5	27.7	28.3

(ウ) 事故種別救急出動状況（令和元年）

救急出動件数を事故種別ごとにみると、下記のとおり急病が最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっている。

区 分	急 病	一般負傷	交通事故	その他	計
件数（件）	6,912	1,199	384	1,827	10,322
全件数に対する割合（%）	67.0	11.6	3.7	17.7	100

3 令和元年の火災状況

火災件数	86件	(50件)
焼損床面積	4,142㎡	(1,334㎡)
焼損表面積	863㎡	(247㎡)
損害額	305,491千円	(62,522千円)
死者	3名	(1名)
負傷者	28名	(11名)
林 野	45 a	(0 a) ※ () は前年数値

(1) 火災概要

令和元年中の火災は86件発生し、前年の50件より36件（72.0%）増加、46世帯、79名が災した。

火災種別では、建物火災51件（全火災の59.3%）、車両火災11件（全火災の12.8%）、林野火災4件（全火災の4.7%）、船舶火災2件（全火災の2.3%）、航空機火災の発生は無く、その他の火災18件（全火災の20.9%）となっている。

前年と比較すると建物火災は16件増加、車両火災は5件増加、林野火災は4件増加、船舶火災は2件

増加、航空機火災の発生は無く、その他の火災は9件増加している。

建物焼損面積合計は、5,005㎡で前年の1,581㎡より3,424㎡増加し、建物火災1件あたりで比較すると焼損面積は1件あたり98.1㎡を焼失、前年の45.2㎡より52.9㎡の増加となっている。

損害額は、3億549万1千円で前年の6,252万2千円より2億4,296万9千円増加し、火災1件あたり355万2千円の損害を受けたことになる。

死者は3名で前年の1名より2名増加、負傷者は28名で前年の11名より17名増加、死者の発生した火災種別は建物火災が3件となっている。

(2) 火災統計

ア 月別火災状況

火災を月別にみると、4月が25件（全火災の29.1%）で最も多い。最も少ない月は2月の1件となっている。月平均7.2件の火災が発生している。

イ 出火原因別の火災発生状況

焼却炉9件（10.5%）、放火・放火の疑い7件（8.1%）、電気関係5件（5.8%）、たばこ、ストーブ各4件（各4.7%）、こんろ3件（3.5%）となっている。

4 消防車両等の現況

種 別		管 理 区 分						合 計
		消防本部	中央署	西署	東分署	消防団		
消防ポンプ自動車	普通	-	-	-	1(1)	18	19(1)	
	水槽付	-	3(1)	8(1)	3(1)	2	16(3)	
はしご自動車	直伸	-	1	1	-	-	2	
	屈折	-	1	-	-	-	1	
化学消防車		-	-	1	1	-	2	
特 殊 車	指揮隊車	-	1	-	-	-	1	
	機材運搬車	-	1	5	-	-	6	
	小型はしご車（12m級）	-	1	-	-	-	1	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	
	災害支援車	-	-	-	1	-	1	
	小型動力ポンプ付水槽車	-	1	3	-	-	4	
救急車		-	-	-	-	9	9	
その他の車両	緊急車	-	3(1)	7(2)	2(1)	-	12(4)	
	その他	4	3	4	2	-	13	
合 計		4	-	1	-	-	5	
合 計		8	16(2)	30(3)	10(3)	29	93(8)	

※（ ）内は予備車の内数を示す